

合併号 各務原市議会議員 大竹 大輔

— いつまでも 住み続けたいまち かかみがはら! —

バンブーレター +かえで通信 41号

令和
6年

1月号

発行人
大竹大輔を育てる会



明けましておめでとうございます



旧年中は格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
本年も初心を忘ることなく、議員の職務、
そして地域の活動に邁進して参ります。

変わぬご指導とご鞭撻のほどを何卒宜しくお願い申し上げます。



（本市の水道料金について）

問 河川などを水源にする他の市町の水道料金に比べ、本市の水道料金はどうなつか？

答 県内で水道事業を実施する38市町について、1か月20m³を使用した場合の水道料金を単純に比較すると、令和5年4月1日現在で、本市は低い方から16番目、高い方からは23番目となっている。県内で料金が高額な市町には、県営水道から受水して事業を実施している市町が多く、同様に令和5年4月1日現在で比較すると、本市の約1.3倍から1.7倍の料金となっている。

問 供給している水道水中、飲食に利用されている水量の割合は？

答 各世帯で使用している水量の中からどれだけ飲食に利用されているかは量ることができないが、一般論として、厚生労働省の資料によると、人が普通に生活する中で、一日に2.4リットルの水分が失われると言われており、このうち、1リットルは飲み水から、残りの0.3リットルは体内で作られる水から水分を摂取しているとされており、1日当たり2.4リットルの水分を水道水などから摂取していることになる。この量と給水人口や平均給水量から、飲食に利用される水量の割合を計算すると、水道水として供給する水のうち約0.7%が飲食に用いられていると考えられる。

問 净水器やペットボトルの水の配布は行わない結論に至った理由は？

答 現在稼働している活性炭による浄化システムは、公表から約3か月後の令和5年10月23日に完成した。仮に、浄水器やペットボトルの水を配布する対応とした場合は、三井水源地から水道水を供給している世帯数が約31,000世帯あることを考慮すると、品物の調達や配送などに時間を要すると考えられる。また、浄水器は定期的なメンテナンスが必要であり、利用状況が適切でない場合は、水質的に問題が発生することが考えられ、市で31,000世帯全体の利用状況を管理することは極めて困難である。また、水源地内の浄化システムの整備の目途が立つておらず、浄水器やペットボトルの配布は行わなかつた。

今回も多くの皆さまに傍聴していただき感謝申し上げます。
引き続き、今後も水道水の課題に注視し、安全な水が安定的に提供されるよう、岡崎市としても国や自治体の先進事例等を調査研究し、様々な観点から提案して参ります。

代表質問の詳細については、大竹大輔ホームページをご覧ください。
または岡崎市ホームページをご覧ください。

令和5年各務原市議会第5回定例会
岡崎市議会代表質問～市政を問う～



令和5年11月28日から12月21日までの24日間、各務原市議会第5回定例会が開催されました。今期定例会では、岡崎市より移住定住施策の現状と今後について、本市の水道水についての2点を質問しました。

今回は、水道水の質問についてご報告させていただきます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症による行動制限がほばなく、地域の行事など様々なイベントがコロナ前のよう開催され、市内各所で賑わいが戻ってきた一年となりました。

私自身も、4年ぶりに日帰り研修旅行を開催させていただき、議員の職務のみならず後援会活動にも活気が戻ってきた一年となりました。

本年も研修旅行をはじめ、市政報告会やふれあいミーティングなども開催させていただき、皆さまのご意見やご提案、そしてご要望を直接伺える機会をたくさんつくって参ります。

昨今では、スマートフォンなどで手軽にリモートミーティングや会議ができる時代です。これらのツールをしつかり使いこなすことは必須ですが、やはり直接お会いして、生の声を伺うことの大切にして参ります。

まずは、5月の令和6年度第一回研修旅行を企画して参りますので、詳細が分かり次第、ホームページやバンブルターにてご案内させていただきます。

さて、今年は、干支は「甲辰(きのえたつ)」です。

十干十二支では41番目で、「甲」は十干の始まりで「命の始まり、ものごとの始まり」を意味します。

今まで積み上げてきたものを大切にしながら、新しいことにどんどんチャレンジして、本年も「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら！」に向け邁進して参りますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

結びに皆さまの益々のご健勝と本年が幸多き一年になることをご祈念申し上げ年始のご挨拶とさせていただきま



▲大竹大輔HP
はこちら

